

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス さんぼみち		
○保護者評価実施期間	2023年 4月 1日	～	2024年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26	(回答者数) 14	
○従業者評価実施期間	2023年 4月 1日	～	2024年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数) 5	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基準人員よりも多い人員配置をしている。	個別対応と集団での活動を意図的に組み合わせ、子ども同士のつながりやコミュニケーションが図れるように、日々振り返りを行い、修正しながら実施している。	放課後スタッフ以外からのスーパーバイズを受けて、さらなる支援の向上に努める。
2	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。	送迎時に親御さんと話すことを意識したり、日々の支援のなかで気になることがあれば、支援後に電話で様子を伺うなど気にかけて支援している。	保護者とのコミュニケーション取ることをさらに意識して関わるようにする。
3	活動概要や行事予定、日々の支援に関して、毎月お便りを発行して、保護者に周知している。	お便りに写真を多用し、その月の様子や出来事、子どもたちがどのように過ごしたかを視覚的に理解していただけるようにしている。	必要によっては、保護者会やモニタリング時に、動画等を活用して日々の様子や子どもの特徴の説明のために使用することも検討していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の連携(つながり)が薄い。	親の会を毎学期ごとに開催しているが、参加率が低い。	保護者の知りたいテーマ設定や、日々の保護者の困り事の抽出を日々行い、親の会を開催する必要がある。
2	苦情に関しての対応に関しての、保護者の評価が低い。	苦情につながることや、ヒヤリハットとして扱うことの抽出ができていない。	日々の申し送りや、困ったことの抽出を行う。保護者との話の中でこちらの配慮に欠けている部分を抽出し丁寧に対応していく。
3	非常災害等の親御様への説明が少ない。	安全計画のなかで計画されたことの保護者への説明、周知が不十分だった。	お便りや親の会等で、保護者への発信の機会を増やしていく。